

令和8年8月 27 日(木) | 3 : 3 0 ~ | 4 : 3 0

参加者:21 名

(校長、教頭 2 名、学校医、学校薬剤師、PTA 役員 5 名、首席 3 名、健康安全部長、学部主事 3 名、保健主事、養護教諭 2 名、栄養教諭)

令和 8 年度 第一回学校保健委員会 記録

1 開会の挨拶

2 自己紹介

3 本校の保健教育について (出前授業を中心に) 養護教諭より

【出前授業内容 (一例)】

小学部：プライベートパーツ

中学部：距離感

高等部：同意、境界線

※実態や学年の希望により内容変更あり

※実際に出前授業に用いている資料を紹介

4 質問、意見交換

(1) 学校医より

質問①出前授業の回数は、定着のためにも 2 回以上ではどうか。

回答①お話の中でも伝えていた通り定着のためには、2 回以上できるのが良いと考えている。

今後検討していきたい。養護教諭が授業を行うことで児童生徒にとって新鮮味や緊張感があるので、養護教諭が子どもたちの前に立って行う授業を今後も大切にしていきたい。

質問②理解度が異なる児童生徒の対応は何かしているか。

回答②内容によっては、2 グループに分けて行ったり、別の教科授業で関連授業をしていて補ったりしている。

質問③子宮けいがんワクチンについて学校からの案内はしているか。

回答③学校からの勧奨はしていません。

(2) PTA より

感想①性教育を学校でしてもらえるのは嬉しい。子どもたちの学習度合いが違うので、習熟

度別におねがいできたら嬉しい。また、うちの子の場合、言葉で正確に何を学んできたのかを家庭で伝えることが難しいため、学校で行った内容を資料共有してもらえると家庭でも同様に性教育に取り組むことができてうれしい。

質問②性器いじりの対応はどのようにすれば良いか。

回答②その行動の背景に何があるかを分析してもらうことがまず必要です。なかなか行動が収めることができない場合は、行動を否定するのではなく、場所を変えることがおすすです。

質問③重度の子どもに“恥ずかしい”を伝えるのは難しいのでしょうか？

回答③なかなか全員に伝わるかという難しい部分がある。伝え方を工夫し、望ましい行動を伝えることができると良いのではないかと思います。

質問④性教育とてもありがたいし、出前授業も意味のあることだと、実際に子どもから出前授業の感想を聞いて感じている。

子どもは高等部で思春期なので、異性である母が伝えられることは限られてきているので、学校という集団の中で継続して学ばせてもらえる環境ありがたい。

感想⑤ ①と同様、家庭でも学校と同じ教育をするために、資料をいただけたら嬉しいです。

感想⑥子どもの実態を改めてたしかめようと感じました。学べてよかったです。

※そのほか、首席より補足：PTA 向け性教育講話の予定あり

5 校長より閉会の挨拶

本日は、ご多用の中、住之江支援学校の学校保健委員会にご出席いただきありがとうございます。本日いただきました、皆様方からのご質問やご意見、ご感想などを今後の保健教育に活かしてまいりたいと思います。性教育については、ご家庭、支援学校におきましてもどのように取り組めばよいのか、子どもたちが理解するにはどのような提示をすればよいのかなど、今も昔も難しい課題に悩まされているのが現状であります。私の教諭時の経験を少しお話させてもらいますと、子どもたちが好きなキャラクターや憧れの有名人などを活用することで、注目しやすくなったり、話をよく聞いたり、理解が進んだり、行動ができるようになったりすることがありました。この方法が必ずうまくいくというわけではありませんが、ご参考にしていただければと思います。改めまして、本日はありがとうございました。